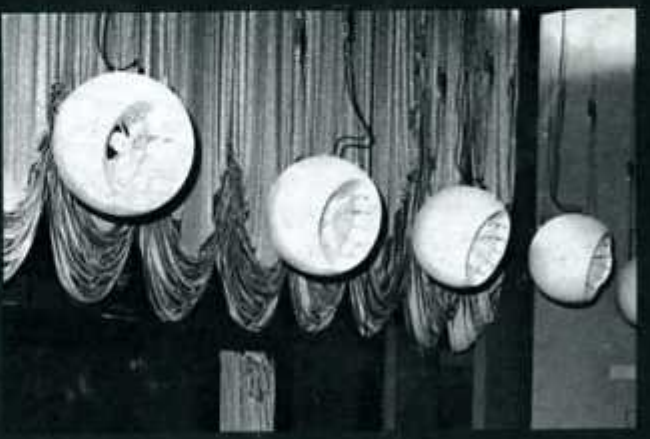


Altec Professional Speaker Systems & Sound Products

〈ALTECプロフェッショナル総合カタログ〉

ALTEC LANSING®

A DIVISION OF ALTEC CORPORATION

Index

Studio Monitor Speaker Systems **1**
9846-8A／620A Monitor／612C Monitor／Mini Monitor 8A 1
Voice of the Theater Speaker Systems **2**
A5 System／A7 System 2
Column Speaker Systems **2**
1217A／1211A 2
Stage Monitor **2**
1221A Stage Monitor 2
Enclosures **3**
410／210／211／815A／825B／415E／816A／614D 3
Duplex Speakers & Full Range Speakers **4**
604-8G／409-8C／755E／403A 4
Low Frequency Speakers **5**
416-8B／515B／417-8H II／421-8H II 5
High Frequency Speakers **5**
802-8D／288-16G／291-16B／2904G 5
Sectral Horns **6**
311-90／311-60／511B／811B 6
Multicellular Horns **8**
203B／803B／805B／1003B／1005B／1505B 8
Low Frequency Horns 使用例 **9**
Dividing Networks **10**
N500F／N501-8A／N801-8A 10
70 & 25 Volt Line Transformers **10**
15067／15313 11
Active Equalizer **11**
1650A 11
Audio Control Console **12**
1220AC／1214A 12
Electronic Crossover Biamplifier **12**
1609A 12
Frequency Shifter & Limiter Amplifier **12**
1614A／1612A 12
Power Amplifiers **13**
9440A／9477B／1590C／1594B 13

ALTEC LANSING

アルテック社の歴史は遠くウェスタン・エレクトリックの時代に溯りますが、以来今日まで40余年にもわたりこの世界でリーダー・シップをとり続けてきた事実は、全く驚嘆に価するといってよいでしょう。

1945年、アルテック社はユニークな２ウェイ・スピーカー・システムを発表しました。このシステムは、ただちに〝映画芸術アカデミー委員会〟に認められ〝THE VOICE OF THE THEATRE〟(劇場の声)というニックネームで世界中のホールや劇場で愛用されています。これがかの有名な〝A7 スピーカー・システム〟です。

また、モニター・スピーカーの分野でもアルテックは余りにも有名で、既にご存知の604Eなどは、録音スタジオを初め、ホール、劇場、放送局のモニター・スピーカーとして完全に世界の標準品となっています。

最近の日本に於けるホール、劇場の新設には目を見張るものがあります。その代表的なものには、新 NHK ホール、サンプラザ・ホールなどがありますが、これらのホールにはアルテック社のスピーカーが採用されています。それは何故でしょうか？

ひと昔まえのホールや劇場では、アコースティックな特性のみが重要視され、P.A.システムはそれを補うための装置と考えられていましたが、近年に至ってその考えは全く改められ、P.A.システムを含めてそのホールや劇場の音響特性を云々するようになってきました。即ち、P.A.システムがそのホールや劇場の音響特性を決定してしまうのです。そのため、従来のように単に音を拡大さえすればよかったP.A.システムは使いものにならなくなり、長く深い経験を持つ秀れたもののみがクローズアップされてきたわけです。

アルテック社のP.A.システムがいかに優秀かということは、それが劇場やホールのみにとどまらず、屋内、外のスポーツ用、教会の礼拝堂、はては１千人収容のラスベガスのマンモス・ナイトクラブ……というように、音声の強化が必要なところへは全て進出し、どの分野でも他の追従を全く許さないことで充分おわかりいただけると思います。

エレクトリでは、この世界最優秀であるアルテック社のプロ用製品をより多くの方々にご使用いただこうと考え、その使用方法などをご理解いただく手引きとして、アルテック社製品を長年輸入し取扱ってきた経験を生かしてこのカタログを制作いたしました。

9846-8A

ローエンドの延び切ったダイナミックフォースウーファー411-8Aを基幹に、クロスオーバーを500Hzと低くとった511Bホーンに強力ドライバー802-8Dが組合わされた、ワイドレンジ特性、再生音の分解能がきわ立つ、新しい音創りのモニタースピーカーシステムです。

再生周波数帯域	25～20kHz
許容入力(連続プログラム)	50W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(新JIS)	97dB
クロスオーバー周波数	500Hz
外形寸法(HXWXDmm)	787×673×603
重量	47.5kg

ユニット構成＝802-8D/511B/411-8A/N501-8A

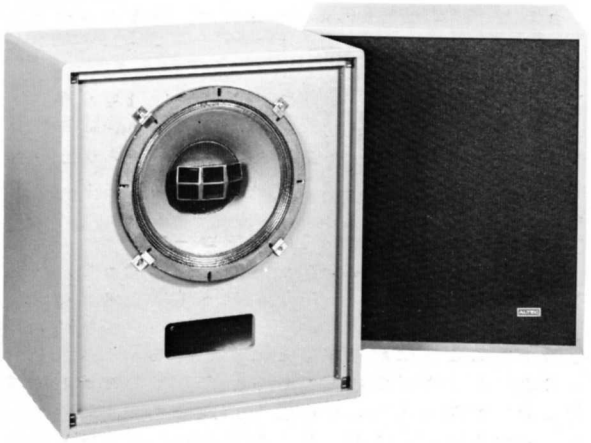
620A Monitor

名作604シリーズの頂点に立つ 新鋭604-8Gモニタースピーカーを、新設計の大容積620 Aエンクロージャーに収めたモニターシステムであり、優れた物理特性と、音楽の本質を正確にとらえる能力を兼ね備えております。

再生周波数帯域	20～22kHz
許容入力(連続プログラム)	45W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(新JIS)	103dB
クロスオーバー周波数	1.5kHz
外形寸法(H×W×Dmm)	1016×660×457
重量	62.6kg

ユニット構成＝604-8G/620A

612C Monitor



ALTECモニターの輝かしい基盤を創りあげたシステムで、正確なバスレフのポートチューニングと、新鋭604－8Gモニタースピーカーの採用により、ローエンドの再生限界を更に延ばし、トランジェント特性、リアリティの格段の向上が計られています。

再生周波数帯域	20～20kHz
許容入力(連続プログラム)	40W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(新JIS)	104dB
クロスオーバー周波数	1.5kHz
外形寸法(H×W×Dmm)	749×648×508
重量	53.0kg

ユニット構成＝604-8G/612C

Mini Monitor 8A

「ミニモニター」の愛称をもつ〝8A〟は、ALTECの他の大型モニターと共通したサウンドキャラクターを実現し、小型ながら卓抜な性能は群を抜いています。
スタジオ内でのサブモニターとしても重宝がられ、あらゆる音楽を生き生き甦らせます。

再生周波数帯域	35～20kHz
許容入力(連続プログラム)	40W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(新JIS)	94dB
クロスオーバー周波数	1.5kHz
外形寸法(H×W×Dmm)	648×368×372
重量	20kg

ユニット構成＝411-8Aタイプウーファー/427-8A/N1501-8A

Voice of the Theater Speaker Systems

A5 System

完成されたもののみがもつ独特の威風があるＡ５は、最高級ユニットの組合せにより再生音というより、生々しい眼前の現実音を感じさせるシステムです。大型強力ドライバー288-16Gを、311-90又は311-60に装着し、使用条件に合せ、拡散角度が選べます。ウーファーには強力型515 Ｂを採用。Ａ５は、現在考えうるプロユースシステムの最高峰といえましょう。

再生周波数帯域	30～16kHz
許容入力(連続プログラム)	60W
インピーダンス	16Ω
音圧レベル(新JIS)	106dB
クロスオーバー周波数	500Hz
外形寸法(H×W×Dmm)	1470×762×612
重量	75.6kg

ユニット構成＝288-16G/311-90/515B/N500F/828B

A7 System

“ヴォイス・オブ・ザ・シアター”の名を揺ぎないものとした、文字通り世界の標準機であり、大劇場、ホール公会堂他、使用実績は枚挙の遑がありません。
その高性能ぶりとスタビリティの優秀性はアルテックならではのものであり、プロユーススピーカーシステムの代表格として、多くのエンジニアの方々の信頼を得ております。

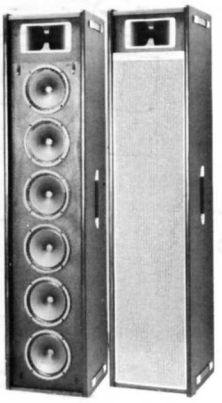
再生周波数帯域	45～20kHz
許容入力(連続プログラム)	50W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(新JIS)	104dB
クロスオーバー周波数	500Hz/800Hz
外形寸法(H×W×Dmm)	1327×762×612
重量(A7-500-8)	64.5kg

ユニット構成
A7-500-8＝802-8D/511B/416-8B/N501-8A/828B

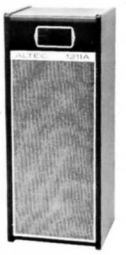
Column Speaker Systems Stage Monitor

ALTECコラムスピーカーシステム
小ホールやナイトクラブの比較的小規模のステージに最適なコラム形スピーカーシステムで、その単一指向の音圧分布特性を活用し、マイクロフォンへのハウリングを極端に低く押えることができます。用途別に３種のシステムがあり、使用目的に合せて選択頂けます。

1217A



1211A

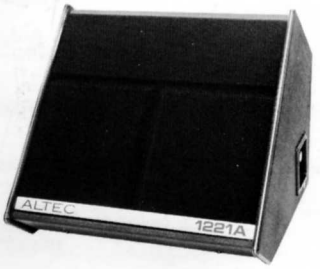


１２１１Ａモニター
オンステージのモニターシステムで、403Ａ20cm全域用スピーカー3個と、専用のＨＦ206ホーン及びＴ60ドライバーの組合せにより、極めてフラットなレスポンスと、ナチュラルな音質が特徴です。

1217Ａコラム
前述の403Ａを6個と、専用のＨ600ホーン、Ｔ50高音ドライバーを組合せ、更に高品質の再生音が期待できるALTECコラムスピーカー中の高性能システムです。

モデル	許容入力	インピーダンス	寸法(縦×横×奥行mm)	重量
1211A	50W	8Ω	890×280×360	20.5kg
1217A	75W	12Ω	1580×360×360	38.5kg

1221A Stage Monitor



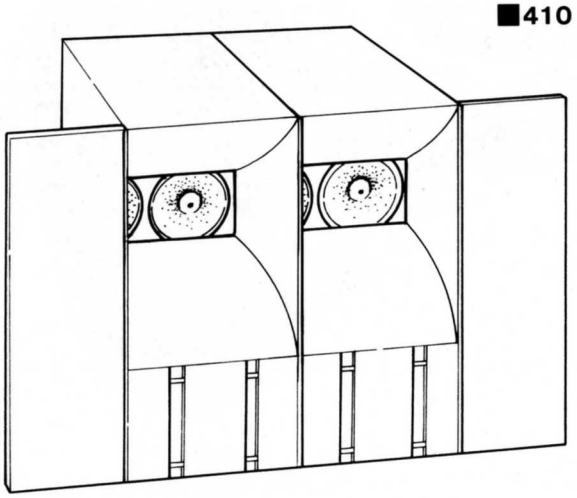
ステージ上のシンガー、プレイヤーのために専用設計されたモニタースピーカーで、極めて狭い必要なアングルにのみ、広帯域再生音が得られるよう32Ａホーン及び、808-8A中高音用ドライバー、低音用として417-8Hウーファーが組合わされています。
ステージのマイクロフォンにも、ハウリングの影響が殆んどなく、高忠実度のモニターが可能です。

許容入力:	50W(アッテネーター"5"の位置では100W入力が可能)
インピーダンス:	8Ω
寸法(縦×横×奥行mm):	559×610×710
重量:	29kg
ユニット構成:	417-8Hタイプウーファー/32A中高音ホーン/808-8A中高音用ドライバー/専用ネットワーク
エンクロージャー:	マルチポートバスレフ
外装:	ビニールレザー張、グリル脱着可

Enclosures

アルテックの低域用キャビネットは、ほとんどがフロント・ロードのショート・ホーンとバスレフ形式の組合わせによるもので、放射能率が非常に高く、アルテック一連のウーファとの組合わせにより最大の効果が発揮できるように設計されています。

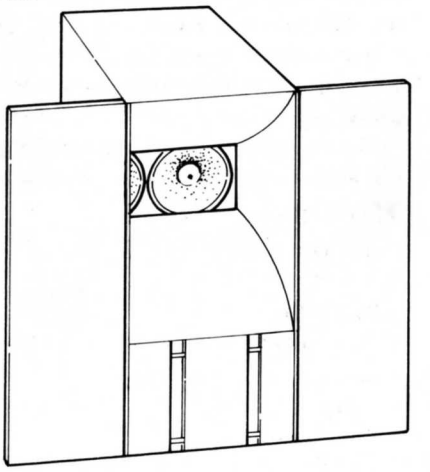
■410



410

取付スピーカー数	4
外形寸法	
(ウイング共、H×W×Dmm)	2134×2616×1003
(ウイング無、H×W×Dmm)	2134×1651×1003
重量	403.7kg

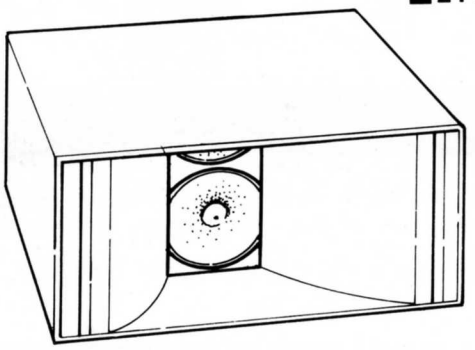
■210



210

取付スピーカー数	2
外形寸法	
(ウイング共、H×W×Dmm)	2134×2045×1003
(ウイング無、H×W×Dmm)	2134× 825 ×1003
重量	200.9kg

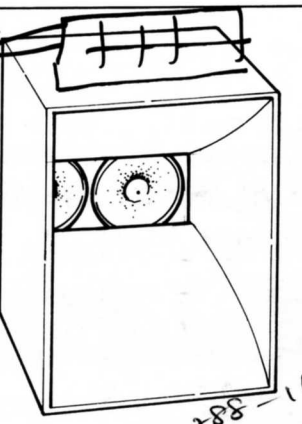
■211



211

取付スピーカー数	2
外形寸法（H×W×Dmm）	826×2134×1003
重量	254kg

■815A

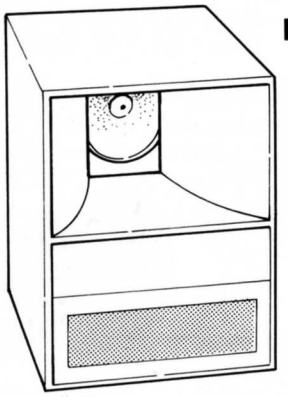


815A

取付スピーカー数	2
外形寸法（H×W×Dmm）	1130×850×830
重量	63kg

288-16G
¥131100
¥125400
N-500F
¥91200
416·8B
¥53600
¥80000

■828B



828B

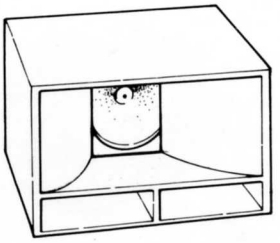
取付スピーカー数	1
外形寸法(H×W×Dmm)	1070×760×610
重量	82kg

■415E

415E

取付スピーカー数	1
外形寸法(H×W×Dmm)	780×760×605
重量	41kg

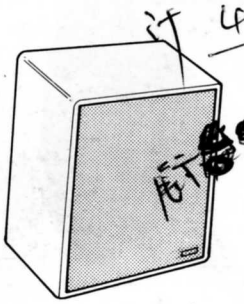
■816A



816A

取付スピーカー数	1
外形寸法(H×W×Dmm)	550×760×660
重量	43kg

■614D



614D（バスレ・フタイプ）

外形寸法(H×W×Dmm)	610×520×390
重量	16kg

適合スピーカー＝414-8B、417-8H、

計 48130 ×2

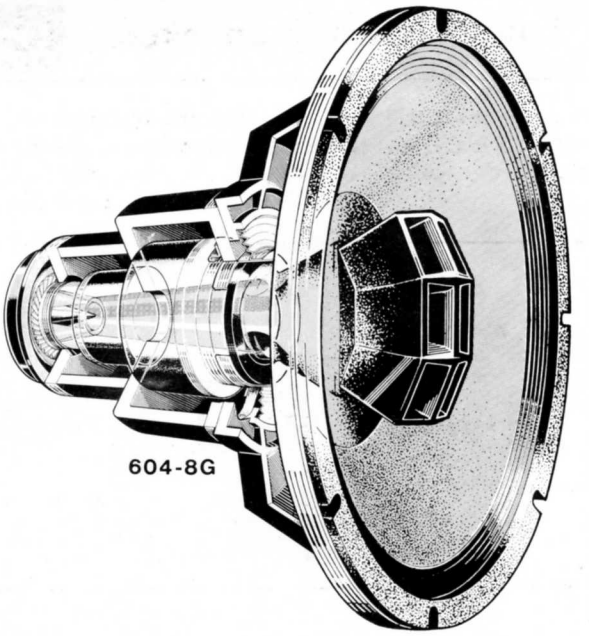
■ALTECクラフツマンシップ

音響機器のなかでも技術的に品質管理が特に難しいとされるのがスピーカーです。

ALTECでは、その高品質を維持するため、近代的なアッセンブルラインを駆使すると同時に、重要なポイントとなるべき箇所は、相変らずハンドメイドで丹念かつ慎重に組み上げられています。これもすべて、製品のグレードを維持し、より良い音をつねに追求する姿勢を崩さないためであり、それには能率向上とはうらはらなプロセスも、やってのけます。例えば、振動板のヴォイスコイルには、熟練した技術者でのみ可能なエッジワイズ巻きを採用、更に10年、20年先までの耐久力を重んじ、経年変化に対処する含浸処理も行っているのです。

スピーカーフレームの肉厚なアルミダイキャストも、セラーホーンの完璧なデッドニングも、考えようによってはおごり過ぎかも知れません。

しかしそれが、良いと確信したことは断固として守るのがALTECクラフツマンシップのイデオロギーであり、世界で最も優れたプロフェッショナルサウンドシステムを可能としたエネルギー源ともいえるのです。

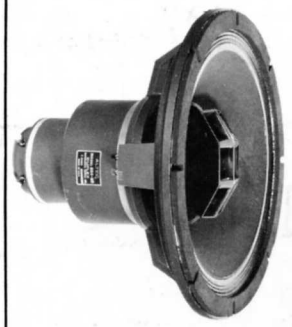


ALTEC LANSING®

Duplex Speakers & Full Range Speakers

アルテックの全域スピーカーには、コアキシアル2ウェイのもの（604-8G、601-8D）と、シングル・コーンのもの（755E、403A）がありますが、いずれもウォールやシーリング・スピーカーとしてたいへん使い易く、音楽は勿論のこと、人の声を極めて明瞭に伝える特長を持っています。

また、604-8G、601-8Dは、モニター・スピーカーとして特に設計されており、音の解像力、定位の良さは右に出るものがありません。



■604-8G

周波数帯域：　20～22,000Hz
許容入力：　40W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：30Hz
出力音圧レベル：103dB　W／m
クロスオーバー：1,500Hz
口径：　38cm
重量：　15.4kg

■755E

周波数帯域：　40～15,000Hz
許容入力：　20W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：64Hz
出力音圧レベル：95dB　W／m
口径：　20cm
重量：　2.0kg

■409-8C

周波数帯域：　50～14,000Hz
許容入力：16W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：84Hz
出力音圧レベル：　97dB　W／m
クロスオーバー：　2,500Hz
口径：　20cm
重量：　1.36kg

■403A

周波数帯域：　70～11,000Hz
許容入力：　12W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：　80Hz
出力音圧レベル：　102dB　W／m
口径：　20cm
重量：　1.4kg

Low Frequency Speakers

アルテックの低域用スピーカーは、中・高音用ユニットとマッチさせるため、極めて能率が高くなっています。特にアルテック一連のショート・ホーン付のキャビネットと組合わせて最大の効果が得られるように設計されているのが特徴です。
また、421A,421-8H IIは、本来電気ベース用として作られたものですが、大入力に耐えられるため、最近では大出力P.A.システムに好んで使用されています。

■416-8B
周波数帯域：　20～1,600Hz
許容入力：　50W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：25Hz
出力音圧レベル：　101dB　W／m
口径：　38cm
重量：　7.9kg

■417-8H II
周波数帯域：　35～8,000Hz
許容入力：　連続100W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：　40Hz
出力音圧レベル：　104dB　W／m
口径：　38cm
重量：　9kg

■515B
周波数帯域：　20～1,000Hz
許容入力：　50W
インピーダンス：　16Ω
最低共振周波数：　25Hz
出力音圧レベル：　105dB　W／m
口径：　38cm
重量：　11.8kg

■421-8H II
周波数帯域：　35～8,000Hz
許容入力：　連続150W
インピーダンス：　8Ω
最低共振周波数：　40Hz
出力音圧レベル：　101dB　W／m
口径：　38cm
重量：　9.5kg

High Frequency Speakers

アルテックの中・高音用ドライバーは、小入力から大入力に至るまで極めてリニアに再生でき、耐久性が非常に高く、経年変化が小さいのが特長です。
その上、万一不慮の事故により、ボイス・コイル断線、振動板破損などが生じても、振動板アッセンブリーを交換するだけでかんたんに修理することができます。
また、290Eは、特に屋外で使用できるよう防水処理がほどこされています。

■802-8D
周波数帯域：　500～20,000Hz
許容入力：　30W
インピーダンス：　8Ω
出力音圧レベル：　109dB　W／m
適合ホーン：　511B、811B
適合ネットワーク：N-501-8A、N-80
寸法：　11.4cm(直径)、9.4cm(奥行)
重量：　3.2kg

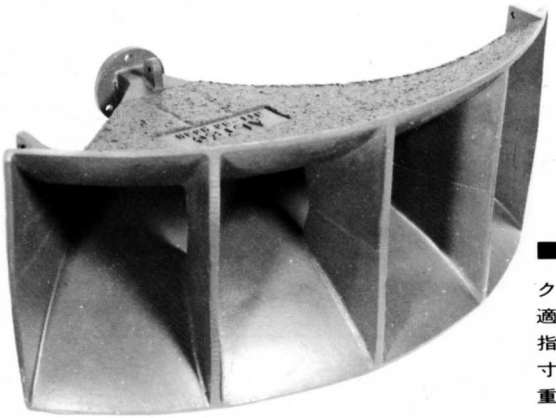
■291-16B
周波数帯域：　500～14,000Hz
許容入力：　80W
インピーダンス：　16Ω
出力音圧レベル：　113dB　W／m
適合ホーン：　311-90、311-60、マルチセルラ・ホーン
寸法：　16.5cm(直径)、12.6cm(奥行)
重量：　9kg

■288-16G
周波数帯域：　500～16,000Hz
許容入力：　40W
インピーダンス：　16Ω
出力音圧レベル：　112dB　W／m
適合ホーン：　311-90、311-60、329A マルチセルラ・ホーン
寸法：　17.9cm(直径)、14.8cm(奥行)
重量：　13.3kg

■290-4G
周波数帯域：　300　～7,000Hz
許容入力：　100W
インピーダンス：　4Ω
出力音圧レベル：　109dB　W／m
適合ホーン：　311-90、311-60、マルチセルラ・ホーン
寸法：　16.5cm(直径)、18cm(奥行)
重量：　9.5kg

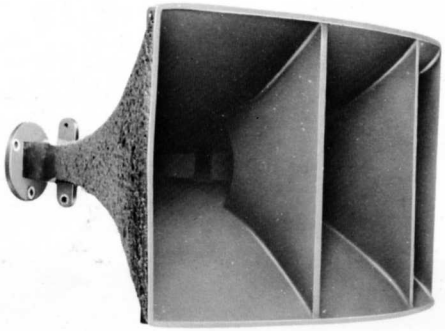
Sectral Horns

放射効率が高く、すばらしい指向特性を持つアルテックのセクトラル・ホーンは、特に高い忠実度を必要とする劇場、ホール等の中・高音用として理想的です。
511B、811Bは、802-8Dドライバーと、311-90、311-60は、288-16G、291-16Bおよび290-4Gドライバーとそれぞれ組合わせて使用しますが、311-60は、水平方向の指向性が60°とせまくなっており、用途に応じて使いわけることができます。



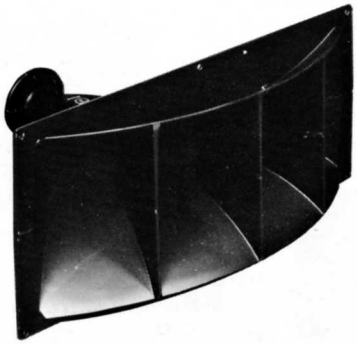
■311-90

クロスオーバー周波数：　300Hz以上
適合ドライバー：　291-16B、288-16G、290-4G
指向特性：　水平90°、垂直40°
寸法：　32.6cm(高)×72.5cm(巾)×53.5cm(奥行)
重量：　13kg



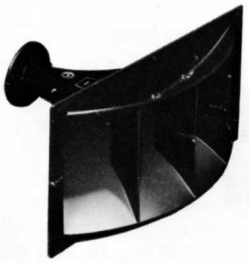
■311-60

クロスオーバー周波数：　300Hz以上
適合ドライバー：　291-16B、288-16G、290-4G
指向特性：　水平60°、垂直40°
寸法：　26.7cm(高)×51cm(巾)×53.5cm(奥行)
重量：　8.8kg



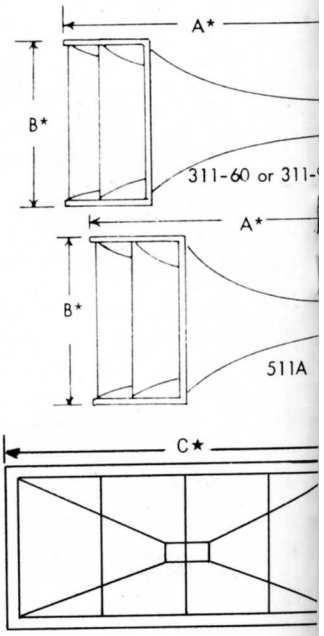
■511B

クロスオーバー周波数：　500Hz
適合ドライバー：　802-8D
指向特性：　水平90°、垂直40°
寸法：　27cm(高)×63.3cm(巾)×50cm(奥行)
重量：　8 kg



■811B

クロスオーバー周波数：　800Hz
適合ドライバー：　802-8D
指向特性：　水平90°、垂直40°
寸法：　22cm(高)×47cm(巾)×34cm(奥行)
重量：　4 kg



ホーン・ドライバーの組合せで得られる、軸上音圧レベル

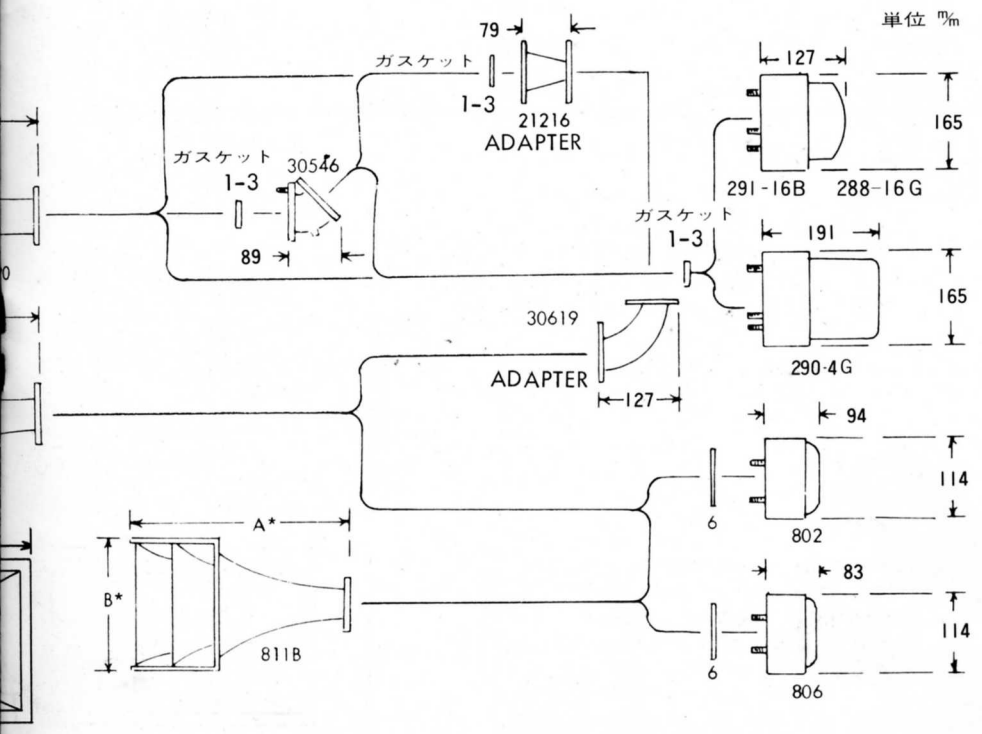
ホーン	ドライバー	インプット・パワー	SPL at 30 Ft. (9m)	SPL at 10 Ft. (3m)	SPL at 4 Ft. (1.2m)
311-60 311-60	288-8G/ 288-16G	15 watts 1 watt	108.0 dB 96.0 dB	117.5 dB 105.5 dB	125.5 dB 113.5 dB
311-60 311-60	290-4G	100 watts 1 watt	112.5 dB 92.5 dB	122.0 dB 102.0 dB	130.0 dB 110.0 dB
311-60 311-60	291-16B	40 watts 1 watt	112.0 dB 96.0 dB	121.5 dB 105.5 dB	129.0 dB 113.0 dB
311-90 311-90	288-8G/ 288-16G	15 watts 1 watt	104.5 dB 92.5 dB	114.0 dB 102.0 dB	122.0 dB 110.0 dB
311-90 311-90	290-4G	100 watts 1 watt	109.0 dB 89.0 dB	118.5 dB 98.5 dB	126.5 dB 106.5 dB
311-90 311-90	291-16B	40 watts 1 watt	108.5 dB 92.5 dB	118.0 dB 102.0 dB	126.0 dB 110.0 dB
203B 203B	288-8G 288-16G	15 watts 1 watt	108.0 dB 96.0 dB	117.5 dB 105.5 dB	125.5 dB 113.5 dB
203B 203B	290-4G	100 watts 1 watt	112.5 dB 92.5 dB	122.0 dB 102.0 dB	130.0 dB 110.0 dB
203B 203B	291-16B	40 watts 1 watt	112.0 dB 96.0 dB	121.5 dB 105.5 dB	129.5 dB 113.5 dB
803B 803B	288-8G/ 288-16G	15 watts 1 watt	106.5 dB 94.5 dB	116.0 dB 104.0 dB	124.0 dB 112.0 dB
803B 803B	290-4G	100 watts 1 watt	111.0 dB 91.0 dB	120.5 dB 100.5 dB	128.5 dB 108.5 dB
803B 803B	291-16B	40 watts 1 watt	111.0 dB 94.5 dB	120.5 dB 104.0 dB	128.5 dB 112.0 dB
1003B 1003B	288-8G/ 288-16G	15 watts 1 watt	104.5 dB 92.5 dB	114.0 dB 102.0 dB	122.0 dB 110.0 dB
1003B 1003B	290-4G	100 watts 1 watt	109.0 dB 89.0 dB	118.5 dB 98.5 dB	126.5 dB 106.5 dB
1003B 1003B	291-16B	40 watts 1 watt	108.5 dB 92.5 dB	118.0 dB 102.0 dB	126.0 dB 110.0 dB

▲上表の測定条件

①電気入力信号は、500～3000Hzの周波数帯域をもつピンクイイズです。

②電気入力とは、実効電圧（RMS、Volt）×実効電流（RMS、Current）を指します。

③軸上4フィート（1.2m）の音圧レベル指示は、ホーンシステムの特質上、開口から10フィート（3m）の音圧レベルから換算したものです。



（単位cm）

ホーン型番	A★	B★	C★
311-90	53.5	32.6	72.5
311-60	53.5	26.7	51.0
511B	50.0	27.0	63.3
811B	34.0	22.0	47.0

■ガスケット仕様表

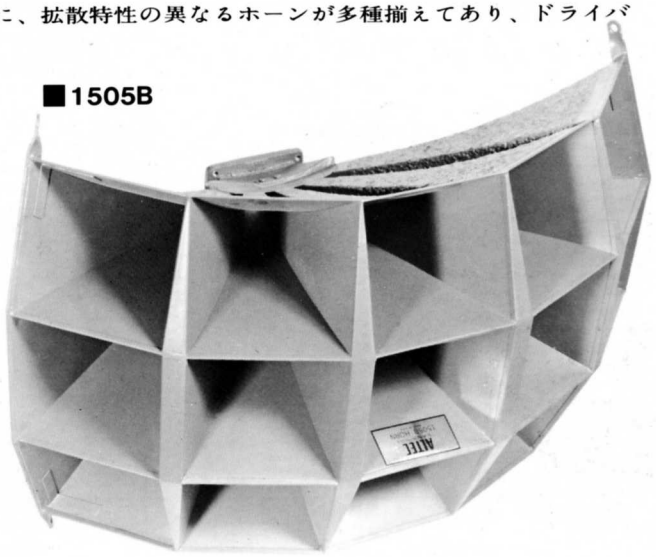
No.	パーツNo.	外径	内径	厚み
1	20466	50.8m/m	35.7m/m	0.51m/m
2	21263	101.6m/m	25.4m/m	2.36m/m
3	21270	50.8m/m	35.7m/m	3.18m/m
6	20472-2	101.6m/m	25.4m/m	1.80m/m

288-16G、291-16B、290EにはNo.1またはNo.3を802-8D、806-8AにはNo.6をご使用ください。

Multicellular Horns

劇場、ホールおよび屋外用拡声装置等の用途には、目的に応じた音圧分布特性が要求されます。アルテックのマルチセルラ・ホーンは、その使用目的に応じて選択できるように、拡散特性の異なるホーンが多種揃えてあり、ドライバーの数もスロートの交換で1本から2本まで装置可能です。また屋外での使用のために、防水型スロートおよびガスケットも揃っています。

■1505B

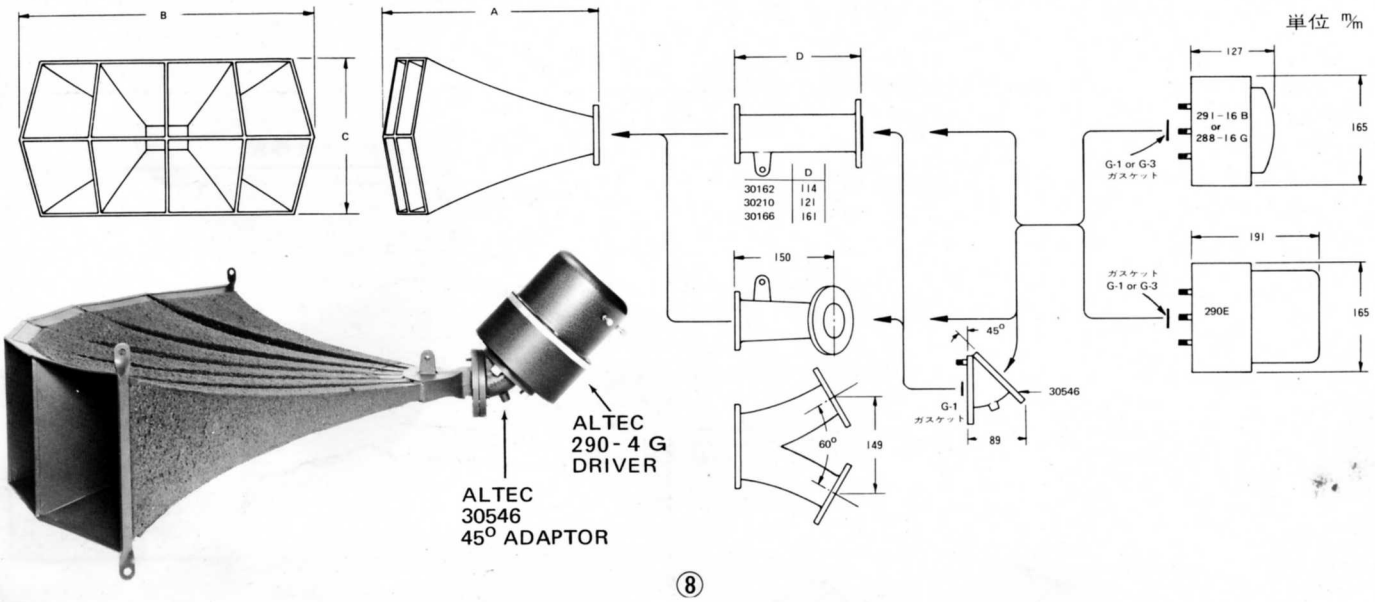


■1005B

■マルチセルラ・ホーン仕様表

型　番	ドライバー数	指向特性	低音限界	セル構成	適合スロート	寸　法（cm）		
						A	B	C
203B	1	20°×40°	300Hz	1×2	——	78.7	81.3	43.2
803B	1	35°×70°	300Hz	2×4	30162	67.3	81.3	41.3
805B	1	40°×80°	500Hz	2×4	30162	44.5	62.2	33.0
1003B	1	35°×90°	300Hz	2×5	30210	64.8	96.5	40.9
	2	35°×90°	300Hz	2×5	30170			
1005B	1	40°×100°	500Hz	2×5	30210	43.8	76.2	33.0
	2	40°×100°	500Hz	2×5	30170			
1505B	1	60°×105°	500Hz	3×5	30166	42.5	77.5	47.0
	2	60°×105°	500Hz	3×5	30172			

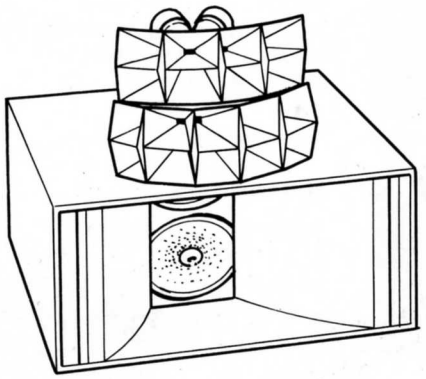
■マルチセルラ・ホーンとドライバーの組合わせ図



Low Frequency Horns 使用例

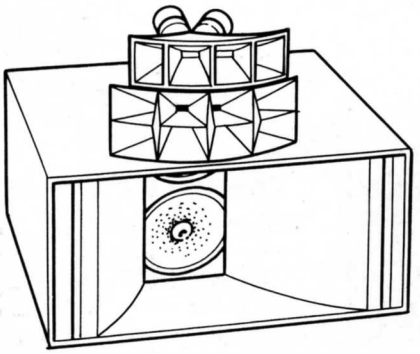
中・高域のユニットは、それぞれシステムの上・下にセットされ、全ての客席に音が均一に分布するように考慮されています。
ここに示したのは、ほんの一例ですが、アルテックはどんな用途にも最適なシステムの組み合わせが可能です。

下記のスピーカー・システムは、アルテックのスピーカー・ユニットおよびキャビネットを組み合わせて、ホールや劇場のプロセニアム・スピーカーとして実際に用いられる場合の使用例です。



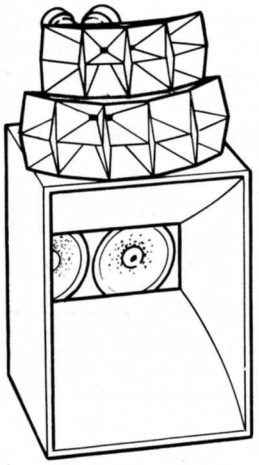
大ホール用

キャビネット	211
ウーファー	515B ×2 or 421-8HII×2
ドライバー	288-16G or 291-16B or 290-4G×2～3
ホーン	(上)203B or 1003B ／(下)805B or 1005B
収容適性	1,000～1,500人:1台／2,000人以上:3～5台



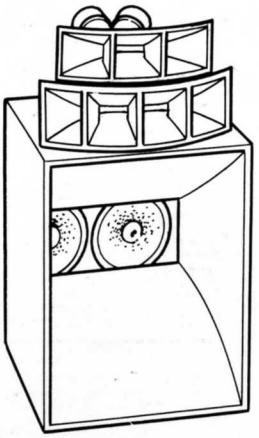
中ホール用

キャビネット	211
ウーファー	515B ×2 or 421-8HII×2
ドライバー	288-16G or 291-16B or 290-4G×2
ホーン	(上)803B ／(下)311-90
収容適性	700～1,000人:1台／1,000～2,000人:2～3台



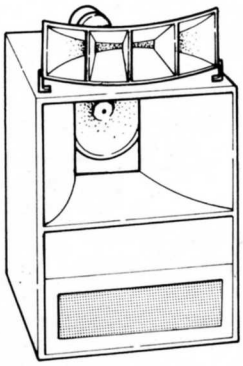
大ホール用

キャビネット	815A
ウーファー	515B ×2 or 421-8HII ×2
ドライバー	288-16G or 291-16B or 290-4G×2～3
ホーン	(上)203B or 1003B (下)805B or 1005B
収容適性	1,000～1,500人:1台 2,000人以上:3～5台



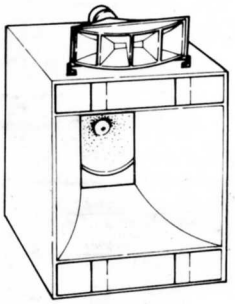
中ホール用

キャビネット	815A
ウーファー	515B×2 421-8HII×2
ドライバー	288-16G or 291-16B or 290-4G×2
ホーン	(上)311-60/(下)311-90
収容適性	700～1,000人:1台 1,000～2,000人:2～3台



小ホール用

キャビネット	828B
ウーファー	515B or 418-8HII
ドライバー	288-16G or 291-16B
ホーン	311-60 or 311-90
収容適性	300～700人：1台 700～1,500人:2～4台



小ホール用

キャビネット	415E
ウーファー	515B or 418-8HII
ドライバー	802-8D
ホーン	511B
収容適性	300～700人:1台 700～1,500人:2～4台

Dividing Networks

ALTECのネットワークは、単にスピーカーに必要な帯域を電気的に分割させるだけでなく、使用ユニットに応じた減衰スロープと諸特性へのマッチングが成されています。ですから聴感の上でも音の良いネットワークとして、業界でも認められています。

■N-500F

許容入力： 250W
インピーダンス： 16Ω
高域減衰調整： 0、1、2、3、4dB切換
クロスオーバー周波数： 500Hz
dB／oct.： 12dB／oct.
寸法： 31cm(高)×28cm(巾)×13.6cm(奥行)
重量： 8.1kg

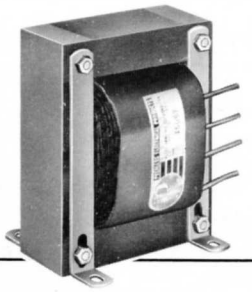
■N-501-8A

許容入力： 100W
インピーダンス： 8Ω
高域減衰調整： 0～10dB可変
クロスオーバー周波数： 500Hz
dB／oct.： 12dB／oct.

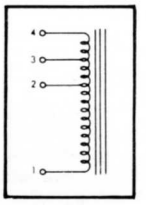
■N-801-8A

許容入力： 100W
インピーダンス： 8Ω
高域減衰調整： 0～10dB可変
クロスオーバー周波数： 800Hz
dB／oct.： 12dB／oct.

70 & 25 Volt Line Transformers



■15067

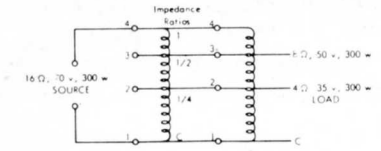


15067 オートトランス

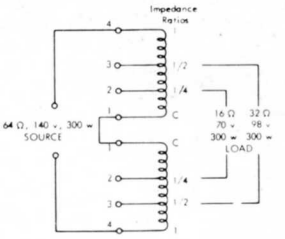
コアボリュームの大きな15067オートトランスは、適合範囲がきわめて広く、通常は70または140Vラインで使用します。ほとんどのインピーダンスマッチングが接続換えで可能となり、その時の周波数レンジも、30～15KHzと広帯域です。挿入ロスも0.3dBと少なく(70Vライン)、1巻線あたりの動作電流は2.2 A、全体で4.4 Aが許容最大値です。(最大出力＝最大電圧×最大入力電流)

15067オートトランス許容値及び接続方法

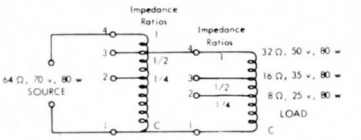
	動作ライン及び最大出力		入力端子	負荷端子	インピーダンス比	電 圧 比	最大出力電流
	30 Hz minimum	60 Hz minimum					
STEP DOWN	70 v at 150 w	140 v at 300 w	1 & 4	1 & 2, or 2 & 4	1:0.25 (1/4)	1:0.5 (1/2)	4.4 amp
	70 v at 150 w	140 v at 300 w	1 & 4	1 & 3	1:0.5 (1/2)	1:0.7 (7/10)	3.1 amp
	70 v at 50 w	140 v at 100 w	1 & 4	3 & 4	1:0.062 (1/16)	1:0.25 (1/4)	2.9 amp
STEP UP	50 v at 150 w	100 v at 300 w	1 & 3	1 & 4	1:2	1:1.4 (1-2/5)	2.2 amp
	35 v at 150 w	70 v at 300 w	1 & 2, or 2 & 4	1 & 4	1:4	1:2	2.2 amp
	17.5 v at 50 w	35 v at 100 w	3 & 4	1 & 4	1:16	1:4	0.75 amp



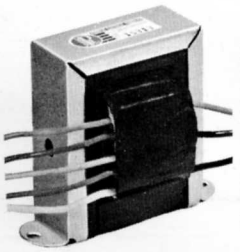
並列接続
70V、300Wライン 4、8Ω



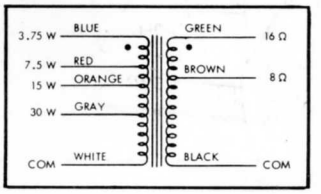
直列接続
140V、300Wライン 16、32Ω



分割接続
70V、80Wライン 8、16、32Ω



■15313



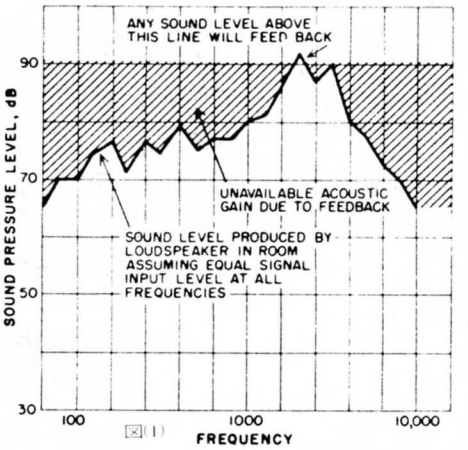
5313ライントランス

70Vライン用に設計された30W許容入力のライントランスで、主にシーリングスピーカー及び、中高音用ドライバー用に最適です。
1次側30、15、7.5、3.75W、2次側8、16Ωに接続換えができます。

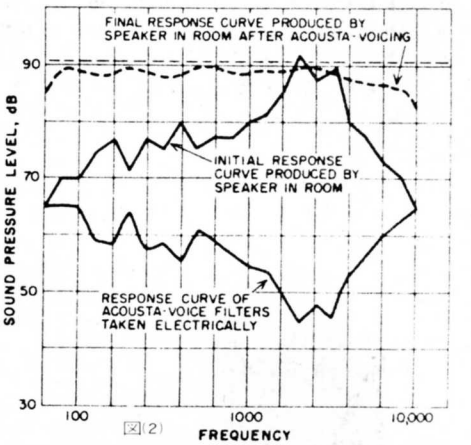
3大特長

1. ホールの音響特性を完璧に補正することができる。
2. ハウリング・マージンを大きく稼ぐことができる。
3. プログラム・ソースに合わせた音響特性を得ることもできる。

近年になって劇場やホールの音響特性は、アコースティックな特性とサウンド・システムの特性とを綜合して評価されるようになりました。
このようになってきますと、ちょうどパイプ・オルガンの管が設置される建物に合わせて調整されるように、サウンド・システムも、それが設置される劇場やホールの音響特性に合わせて調整されるべきであると考えられるようになりました。
ところが劇場やホールの音響特性は極めて複雑で、急な山、谷が多く、従来の7～9素子のグラフィック・イコライザー等ではバンド巾が広すぎて補正することが不可能でした。アルテック社では、⅓オクターブというせまいバンド巾を持つ特殊なフィルターの組合わせによりこれを可能にしました。これが〝アコースタ・ボイシング〟です。
アコースタ・ボイシングは、サウンド・システムの全てにアコースティックな特性を含めて完璧に補正しますので、自然で明瞭な音が得られる上に、ハウリング・マージンを大幅に稼ぐことができます。
また、使い方によってはプログラム・ソースに合わせた音響特性を作り出すこともでき、それぞれにすばらしい効果を発揮します。
図(1)をご覧ください。音響特性のピークによるフィードバックによってハウリングが起きてしまうため、斜線の部分の音響利得が削りとられていますが、図(2)のように、アコースタ・ボイシングにより電気的な補正をかければ、点線で示したようなすばらしいレスポンスが得られる上に音響利得が大きくとれることがおわかりいただけます。
それでは、このようにすばらしい効果は、どのようにして得られるのでしょうか？
ブロック・ダイアグラムをご覧ください。ジェネレーターによってピンク・ノイズを発生させ、アコースタ・ボイシングを含めたサウンド・システムを通過して出た音を、リスニング・ポイントで、校正されたマイクロフォンで拾い、周波数分析装置（8050A）で読みながらアコースタ・ボイシングのフィルターのアッテネーターを調節し、周波数特性をフラットにします。これにより、図(2)の点線で示したような秀れたレスポンスが得られるのです。

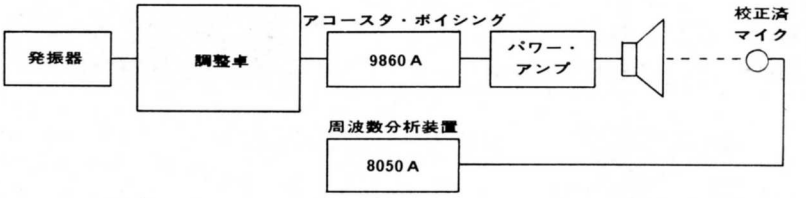


図(1)



図(2)

アコースタ・ボイシング・ブロック・ダイアグラム



ALTEC 1650A アクティブ・イコライザー

■1650A

型式：　⅓オクターブ巾を持つ28個のアクティブ・フィルターの組合せ
入力レベル：　＋21dBm／＋1dBm(スイッチ切換)
出力レベル：　＋21dBm／＋1dBm(スイッチ切換)
周波数特性：　20～20,000Hz(±1dB)
歪率：　0.5%(T.H.D)以下
ノイズレベル：　－90dBm(＋21dBm input)／－100dBm(＋1dBm input)
コントロール：　31.5～16,000Hz、⅓オクターブ巾28エレメントのスライドタイプ・フィルターによる。各フィルターは15dBのコントロールが可能。
ハイ・パス：　OFF／20Hz／40Hz／80Hz／160Hz(18dB/oct)
ロー・パス：O OFF／5 KHz／8 KHz／12.5KHz／20KHz(18dB/oct)
電源：　120／240V A.C. 50／60Hz(35W)または24／28V D.C.(0.1A)
寸法：　13.3(H)×48.3(W)×20.3(D)cm
重量：　7.7kg

Audio Control Console

■1220AC ミキシング・コンソール

従来、P.A.用ミキシング・コンソールは専用のものがなく、小型のレコーディング・スタジオ用のものを改造したりして使っていましたが、機能面でも、また強度や構造上の面からも不便な点が多く、あまり適当であるとはいえませんでした。
アルテック1220ACは、レコーディング・スタジオ用コンソールと同等の性能を持ち、信頼度が高く、しかもP.A.に適した数々のユニークな特徴を誇っています。
リミッターおよびリバーブ・ユニットが内蔵されているため、オーバー・レベルによる歪の発生を防ぎ、エコーの効果も思いのままです。
アウトプットは、ステレオ全域出力のほかに内蔵のエレクトロニクス・クロスオーバー・ネットワークにより、800Hz、500Hz切換可能な低域・高域別個の出力も得られます。
また電気的特性が秀れているため、録音用コンソールとしてもすばらしい機能を発揮します。
ケースはレザー張りで、スティール製の脚は取りはずしてケース内に収納でき、コンソールは、ケースからはずして卓上用として使用することも可能です。

■仕様

入力： 10チャンネル、150Ω
利得： 86dB
出力： 21dBm（最大）全域ステレオ出力および800Hz、500Hz切換可能な、高・低別個の出力
周波数特性： ±1dB 30～20,000Hz
歪率： THD 0.5%以下(30～20,000Hz)
S／N比： 80dB以上（最大出力時）
トーン・コントロール： ±16dB 100Hz、10KHz
リミッター・リリース： 0.5sec.、1.5sec.
電源： 120／240VA.C. 50／60Hz 50W
24／28Vバッテリー 2A（最大）
寸法： 96.5(巾)×30.5(高)×66.0(奥行)cm
重量： 54.5kg
その他： リミッター、リバーブ・ユニット エレクトロ・クロスオーバー・ネットワーク(500Hz、800Hz切換可能)内蔵

■1214A ミキサー・パワーアンプ

入力： 6CH（150Ω）
周波数特性： ±2dB 20～20,000Hz
出力： 100W連続（負荷Imp. 4Ω以上）
S／N比： 80dB以上
寸法： 62.2(巾)×23.5(高)
重量： 23.6kg ×38.1(奥行)cm

Electronic Crossover Biamplifier

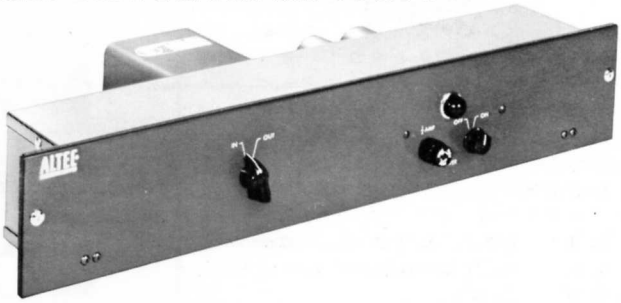
1609Aバイ・アンプ

プロ規格19付ラックマウントタイプの2chパワーアンプで、100W出力の低音アンプと50W出力の中高音アンプ、更にエレクトリック・クロスオーバーネットワークが一諸にコンプリートされている機能的に優れたバイアンプです。
ALTECスピーカーを理想条件で駆動できクロスオーバーは12dB/OCTで、500、800、1500の各周波数ポイントが選択できます。

Frequency Shifter Limiter Amplifier

1614Aフレケンシー・シフター

劇場やホールでのマイクロフォンへの音圧のフィードバックによるハウリングを防止する効果の上るのが、このフレケンシー・シフターです。
ハウリングポイントの音圧のピークを、周波数シフトし、更に4～7dBの音量増強が期待できます。



ALTEC 1612Aリミッターアンプ

2つの入力回路をもつ、ライン及びリミッターアンプで、リミッターアンプとしては最大25dBまでの対数圧縮ができます。ラインアンプとしての機能は、プラグインアッセンブリーによる90dBゲインのマイクロフォンプリアンプ、更に40dBゲインの600Ωラインアンプにも変更が可能です。

Power Amplifiers

ＡＬＴＥＣ社のパワーアンプは、自社の一連のプロユーススピーカーシステムを、効率よくしかも理想的な条件で駆動させる目的で開発したもので、プロ機としての過酷な条件にも耐えられる設計配慮が成されています。負荷インピーダンスの変動、オーバードライブにも強く、耐久性は無論のこと安全性も高いため、スピーカーを破損する恐れが極めて少ないのも特徴です。

■9440A

実効出力	：220W＋220W（20～15kHz、8Ω負荷）
高調波歪率	：0.1％（定格出力時、20～15kHz）
周波数特性	：5～100kHz（＋0、－3dB以内、1W時）
入力感度	：0.6V／13kΩ
S/N比	：100dB
セパレーション	：80dB（1kHz）
外形寸法	：48.3（W）×17.8（H）×27.9（D）cm
重　量	25.6kg

■9477B

出力：　130W連続
入力：　0.8V
周波数特性：　±0.5dB 20～20,000Hz
ロードインピーダンス：　4Ω、8Ω、16Ω
ダンピング・ファクター：　14.5
電源：　120／240V A.C.50／60Hz 20～250W（最大）
寸法：　17.8（高）×48.3（巾）×21.6（奥行）cm
重量：　15.5kg

■1590C

出力：　200W連続
入力：　0.8V
周波数特性：　±1dB 20～20,000Hz
ロードインピーダンス：　25Ω、50Ω、100Ω、200Ω
電源：　120／240V A.C.　50／60Hz 25～420W（最大）
寸法：　26.7（高）×48.3（巾）×21（奥行）cm
重量：　18.6kg

■1594B

出力：　100W連続
入力：　0.8V
周波数特性：　±1dB 20～20,000Hz
ロードインピーダンス：　4Ω、8Ω、16Ω、50Ω
電源：　120／240V A.C.　50／60Hz 20～250W（最大）
寸法　17.8（高）×48.3（巾）×21.6（奥行）cm
重量：　16.1kg

ALTEC社製品日本総輸入代理店

株式会社 エレクトリ

〒161 東京都新宿区上落合1-19-3 モンドビル ☎03(950)6266(代)

●ALTECプロ製品には、広範囲の保証がされています。

日本では総輸入代理店である㈱エレクトリがＡＬＴＥＣ社から全保証サービスを委任されており、出荷の際の動作特性のチェックは勿論のこと、プロユース製品には絶対不可決な不慮の事故の際の敏速なパーツ、アッセンブリー交換及び、高度の技術レベルを基盤とするメインテナンスサービスを履行しております。

弊社の技術員は、米国ＡＬＴＥＣ社で技術研修を完了した優秀な人材で構成され、高精度の測定器群（ヒューレットパッカード、Ｂ＆Ｋ、テクトロ等）を駆使したアフターケアは、既に業界でご好評を戴いております。

最先端技術でつねに世界のトップにランクされるＡＬＴＥＣ製品をどうか末長くご愛用下さい。